

リミット設定方法 (EB, BE-A, BE-B, BE-C, EC, 装置他)



警告

この表示欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があります。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています

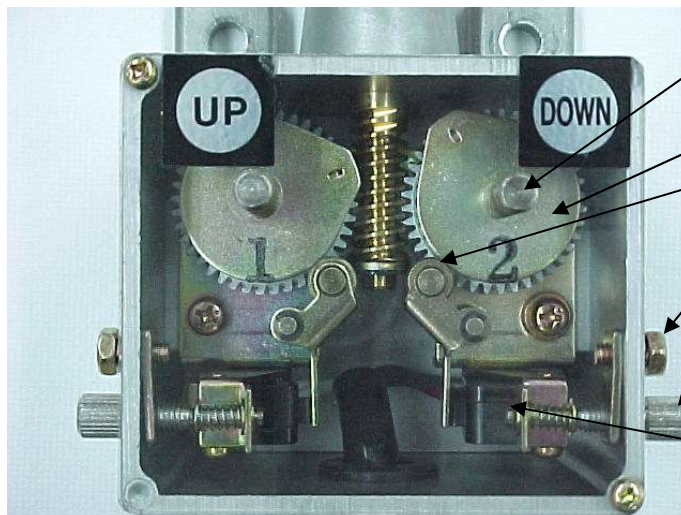
警告



- ・ 上限側と下限側のカムツマミを間違えないように十分注意する
- ・ 微調整ネジでの調整後は、ロックナットを確実に締め付ける

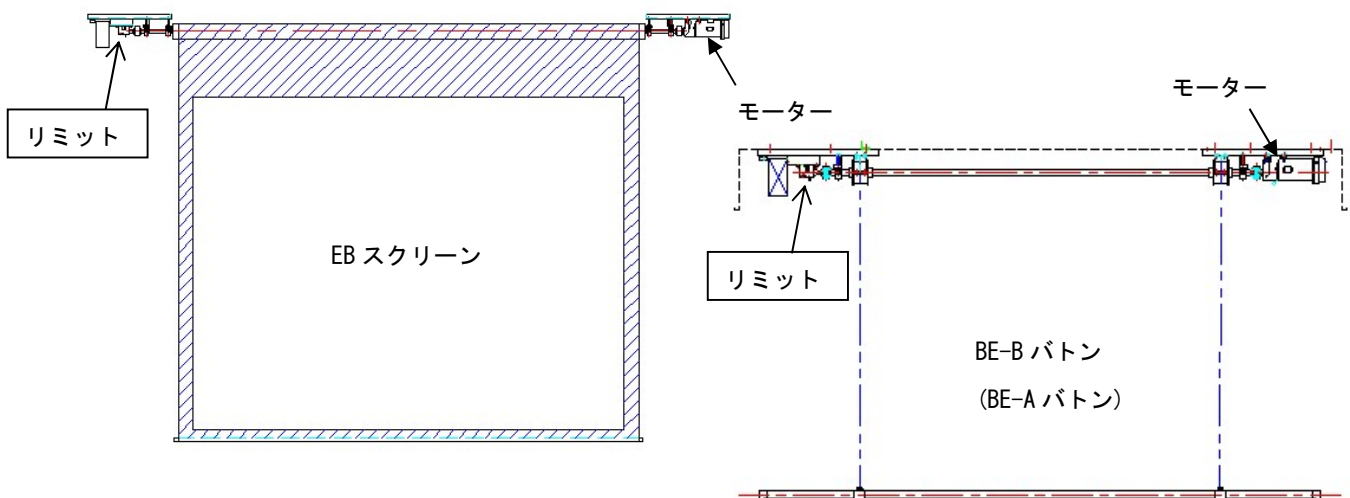
設定方法

各部の名称を確認したのち、下記のとおりを設定してください。



- ① カムツマミ
… (リミット位置の調整用)
- ② リミッターカム
- ③ ローラー
- ④ ロックナット
… (微調整ネジの固定用)
- ⑤ 微調整ネジ
… (リミット位置の微調整用で
マイクロスイッチを移動させる)
- ⑥ マイクロスイッチ
… (電氣的な接点)

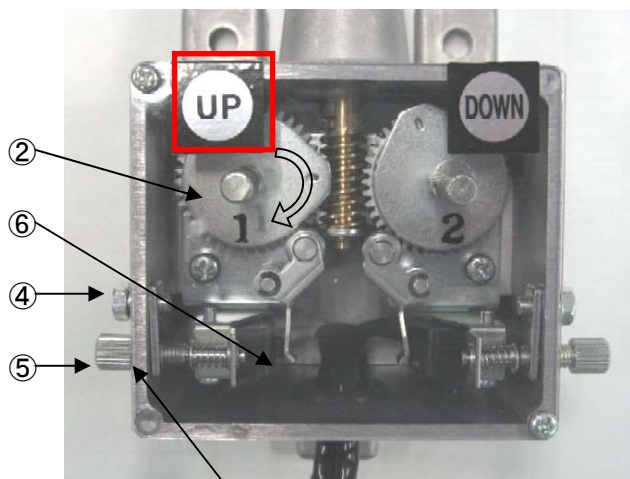
1. ご購入機種のリミット位置を確認し、上限 (UP)・下限 (DOWN) の①カムツマミの位置を確認する。



※BE-C 型バトン、EC スクリーンは巻取ユニットに、その他装置はモーターの周辺に配置されています。

2. 上限側リミット調整

- (1) UP (上限側) の、④のロックナットを緩め、⑤の微調整ネジを時計方向に回し、⑥のマイクロスイッチを押し込んでおく。(ケース外側のネジ山が1山くらい残る程度)



装置を上昇側へ少々動かし、②のリミッターカムが矢印方向 (右回転) に動くことを確認する。

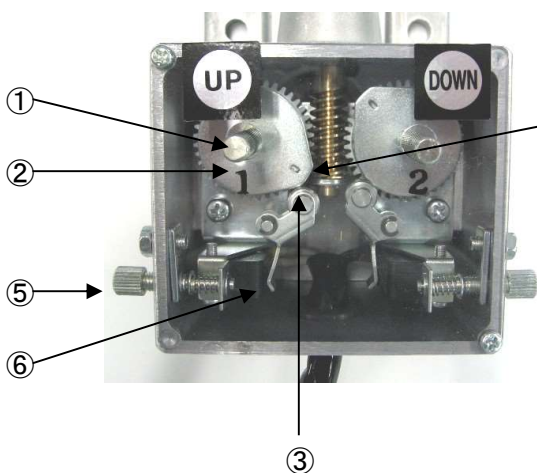
※EB スクリーン、BE-A バトン、BE-B バトンは図の通りに回転。
BE-C バトン、EC スクリーン、その他装置関係はリミットの組付け方で変わりますので、装置を動作させて回転方向を確認してください。

ケース外側のネジ山が1山くらい残る程度

⚠ 注意

- ・リミット作動位置が決まっていない状態で装置を動かすと、スクリーンの脱落、逆巻き、巻き上げすぎなど装置の故障の原因になりますので、装置を見ながら操作してください。
問題が起こりそうになれば直ちに動作を止めてください。
- ・調整中のリミットとは反対のリミッターカムは、調整中のものと同時に働かないようにしてください。

- (2) 装置を動作 (上昇) させ、リミットを作動させる寸前ぐらいの位置で、止める。
止めた後、①のカムツマミを引きながら回し、②リミッターカム (の山) が③ローラーに当たった状態 (リミットスイッチON) にする。(下写真)
(リミットスイッチがONになったとき、⑥のマイクロスイッチがカチッと小さい音がする。)



②のリミッターカムの山が
③のローラーに当たった状態
(リミットON) にする

(3) 装置を一度少し下降させ、再度上昇させ、(2) で設定の上限リミット位置で停止するか確認する。

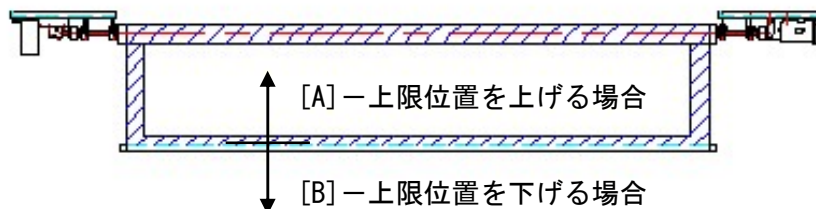
希望の停止位置とあわない場合は、⑤微調整ネジを回しながらリミット位置が合うまで微調整を行う。このとき⑤の微調整ネジは、緩めて行く（遅く止まる＝上限位置が上がる）方向である。

⑤の微調整ネジを緩めて半分以上（5ミリ程）緩めても希望の停止位置にならない場合は、

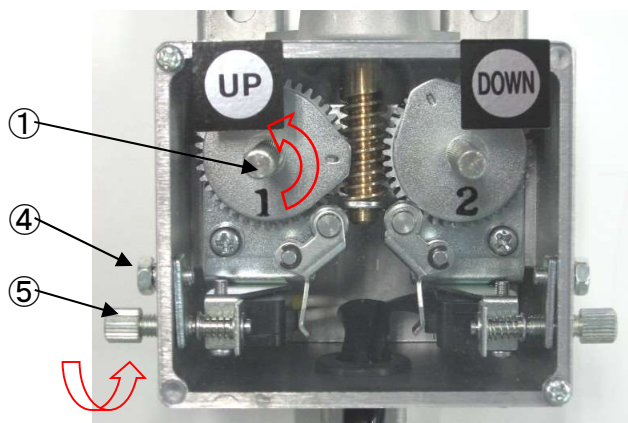
①のカムツマミを引き上げコマずらし、再度⑤の微調整ネジで調整する。

（注意：⑤の微調整ネジをいっぱいまで緩めると、誤作動が発生することがあります。）

EB スクリーン

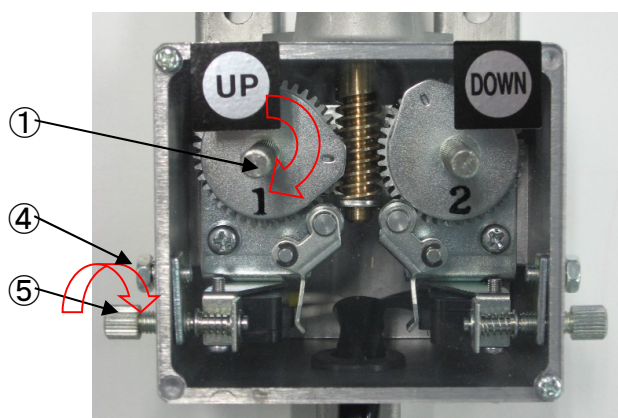


[A] . . . 上限位置を上げる場合の調整方法



①のカムツマミを、反時計まわりに回すか
⑤の微調整ネジを、反時計まわりに回すと
上限位置は、上方向にズレます。

[B] . . . 上限位置を下げる場合の調整方法



①のカムツマミを、時計まわりに回すか
⑤の微調整ネジを、時計まわりに回すと
上限位置は、下方向にズレます。

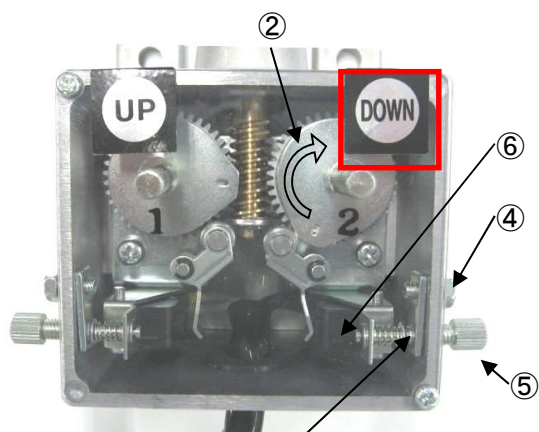
(4) リミット位置が決まれば、数回昇降の繰り返し動作を行い、誤差があれば再度調整する。

(5) 調整が終われば、④のロックナットを締め、再度装置を動作させ、リミット位置を確認する。

（ロックナットを締めた時に、誤差が生ずる事があるため）

3. 下限側リミット調整

- (1) DOWN (下限側) の、④のロックナットを緩め、⑤の微調整ネジを反時計方向に回し、⑥のマイクロスイッチを引いておく。(ケース内側のネジ山が1山くらい残る程度)



装置を下降側へ少々動かし、②のリミッターカムが矢印方向 (右回転) に動くことを確認する。

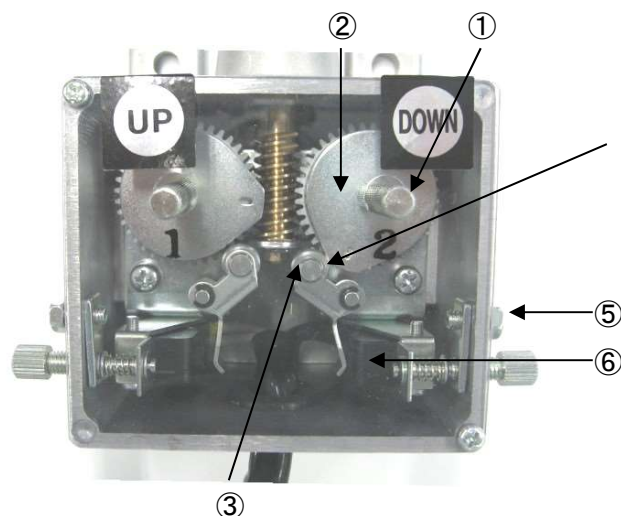
※EBスクリーン、BE-Aバトン、BE-Bバトンは図の通りに回転。BE-Cバトン、ECスクリーン、その他装置関係はリミットの組付け方で変わりますので、装置を動作させて回転方向を確認してください。

ケース内側のネジ山が1山くらい残る程度

⚠ 注意

リミット作動位置が決まっていない状態で装置を動かすと、スクリーンの脱落、逆巻き、巻き上げすぎなど装置の故障の原因になりますので、装置を見ながら操作してください。
問題が起こりそうになれば直ちに動作を止めてください。

- (2) 装置を動作 (下降) させ、リミットを作動させる寸前ぐらいの位置で、止める。
止めた後、①のカムツマミを引きながら回し、②リミッターカム (の山) が③ローラーに当たった状態 (リミットスイッチON) にする。(下写真)
(リミットスイッチがONになったとき、⑥のマイクロスイッチがカチッと小さい音がする。)



②のリミッターカムの山が③のローラーに当たった状態 (リミットON) にする

(3) 装置を一度少々上昇させ、再度下降させ、(2) で設定の下限リミット位置で停止するか確認する。

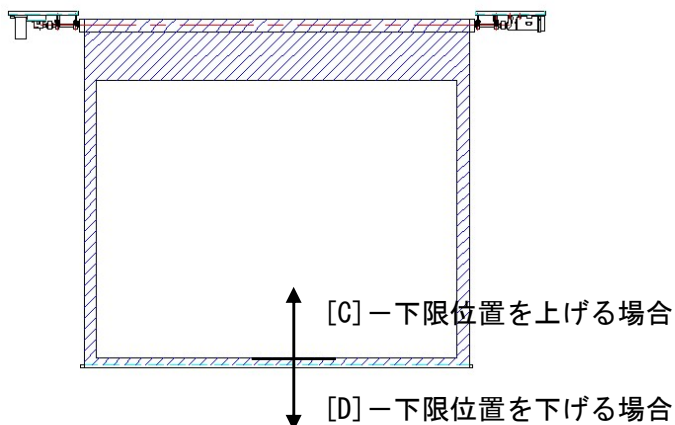
希望の停止位置とあわない場合は、⑤微調整ネジを回しながらリミット位置が合うまで微調整を行う。このとき⑤の微調整ネジは、締めて行く（早く止まる＝下限位置が上がる）方向である。

⑤の微調整ネジを締めて半分以上（5ミリ程）締めても希望の停止位置にならない場合は、

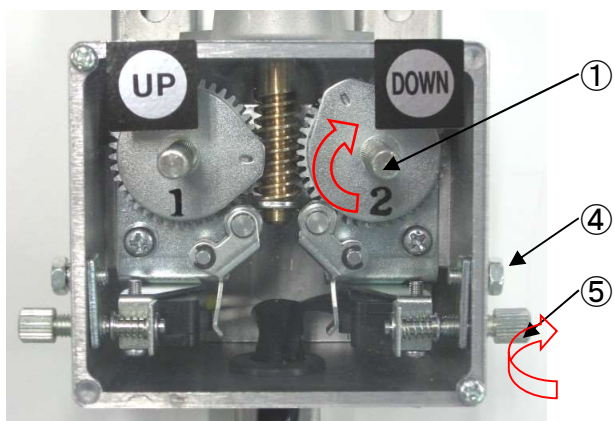
①のカムツマミを引き上げコマずらし、再度⑤の微調整ネジで調整する。

（注意：⑤の微調整ネジをいっぱいまで緩めると、誤作動が発生することがあります。）

EB スクリーン

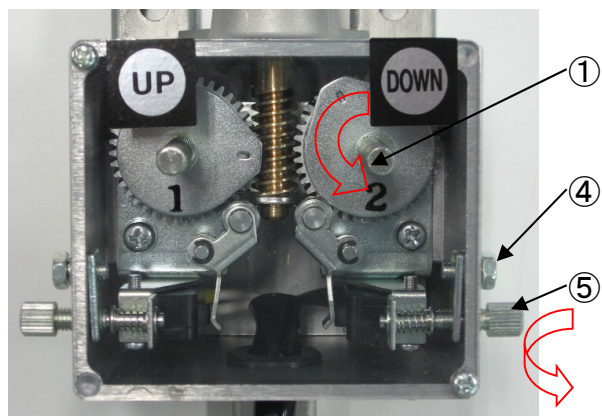


[C] . . . 下限位置を上げる場合の調整方法



①のカムツマミを、時計まわりに回すか
⑤の微調整ネジを、時計まわりに回すと
下限位置は、上方向にズレます。

[D] . . . 下限位置を下げる場合の調整方法



①のカムツマミを、反時計まわりに回すか
⑤の微調整ネジを、反時計まわりに回すと
下限位置は、下方向にズレます。

- (4) リミット位置が決まれば、数回昇降の繰り返し動作を行い、誤差があれば再度調整する。
- (5) 調整が終われば、④のロックナットを締め、再度装置を動作させ、リミット位置を確認する。
(ロックナットを締めた時に、誤差が生ずる事があるため)

 **注 意**

微調整ネジは、緩めすぎたり、締めすぎたりしないこと。
リミットが正常に動作しない可能性があります。

製造販売元 株式会社 **オーエスエム**

連絡先:株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53

TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496

(受付時間:平日 9:00~17:50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail : info@os-worldwide.com